



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「提灯の生産額」と「お茶の生産量」です。



提灯の生産額

検索



お茶の生産量

検索



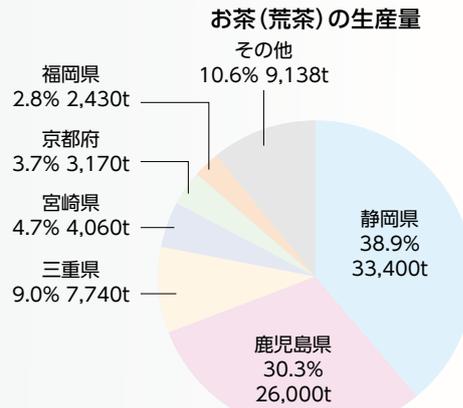
お茶の生産量

お茶の生産量は、統計データでは、茶葉を1次加工（熱処理）した「荒茶」という品目で公表されています。その「荒茶」の生産量は、鹿児島県が静岡県に次いで全国2位（国内シェア約30%）となっています。

鹿児島県の茶業は、今からおよそ800年前に平家の落人により伝えられたとされ、島津藩政時代の奨励により県内各地に広まったと言われています。近年では、平坦な茶園が多いことから、乗用型茶摘み機（※）等の機械化が進み、生産が拡大しました。

鹿児島県産のブランド茶「ゆたかみどり」はその名の通り濃い緑色が特徴で、一口含むと香ばしさが広がり、後からはのかな甘みを感じる逸品です。

※乗用型茶摘み機：茶畑の畝に沿って走り、内部の回転刃やバリカンで茶を刈って送風機で後部の収納装置に集める機械。



(出所:農林水産省「平成24年作物統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



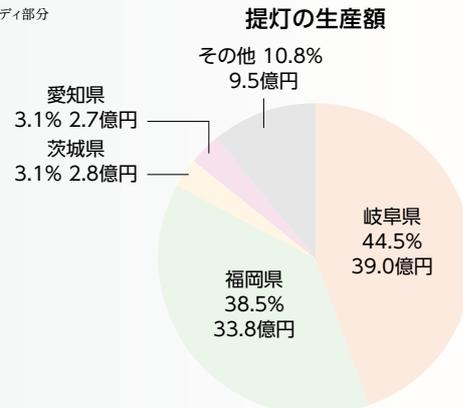
提灯の生産額

お盆に先祖を迎える提灯は、約4割が福岡県で生産されています（全国2位）。特に生産が盛んな八女地区は、19世紀後半、八女手漉き紙（薄紙）に山水、草木、花鳥などの彩色画を描写した情緒豊かな盆提灯が涼み提灯として名声を博し、一大産地となりました。

八女提灯の製造は、工程ごとに独立した専門の職人が担当しています。火袋（※）の製作は「張り師」、絵付けは「絵師」、漆の塗りは「塗り師」といった具合です。こうして作られた部品が、最後に全体の流れを管理する「提灯屋」に集められ、仕上げられます。

全国で先祖の供養に用いられる八女提灯は、平成13年、経済産業省から「日本の伝統的工芸品」に指定されています。

※火袋：紙で覆われた、伸縮するボディ部分



(出所:総務省「平成24年経済センサス-活動調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、消費税増税前の駆け込み需要対応が一服し、輸送機械や食料品が低下しています。個人消費は、一部に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られますが、大型小売店販売額は前年並みに回復する等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られ、着工数は減少しています。

(森山 裕司)

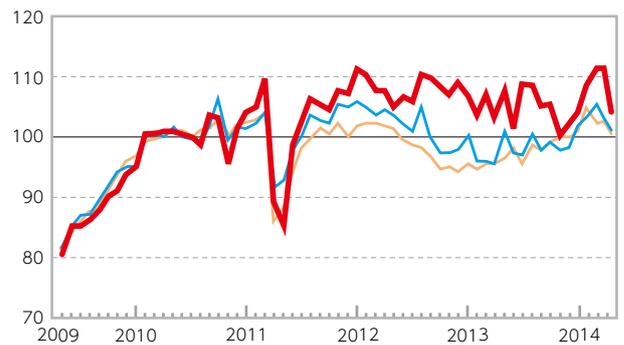
1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は102.6と前月比8.4%低下しました。

主要業種では、橋梁等の生産が増加した金属製品等が上昇したものの、四輪自動車が減産となった輸送機械、ビール類の生産が減少した食料品が低下。生産は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られますが、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

出所 福岡県、九州経済産業局、経済産業省

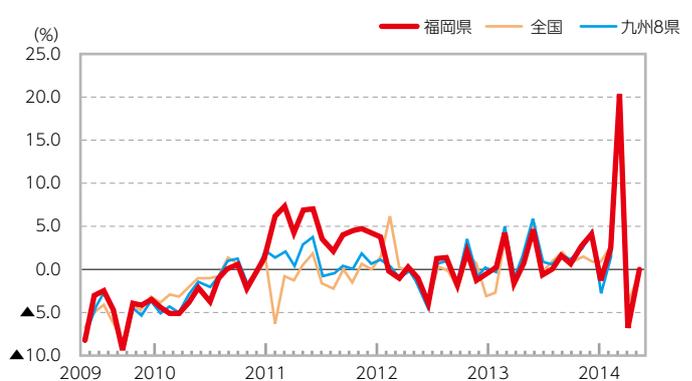


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.4%減の552億円となりました。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で、衣料品や宝飾品、家電等を中心に前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回り、全体ではほぼ前年並み水準となっています。

■ 福岡県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省

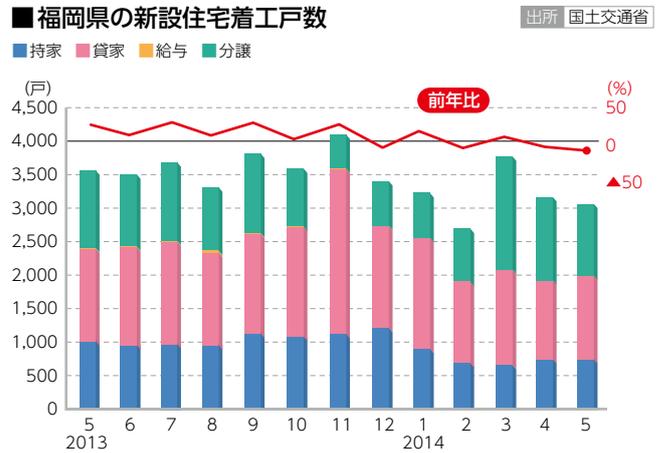




3.住宅建設 | 消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られる

5月の新設住宅着工戸数は、3,143戸と前年同月比10.9%減少しました。

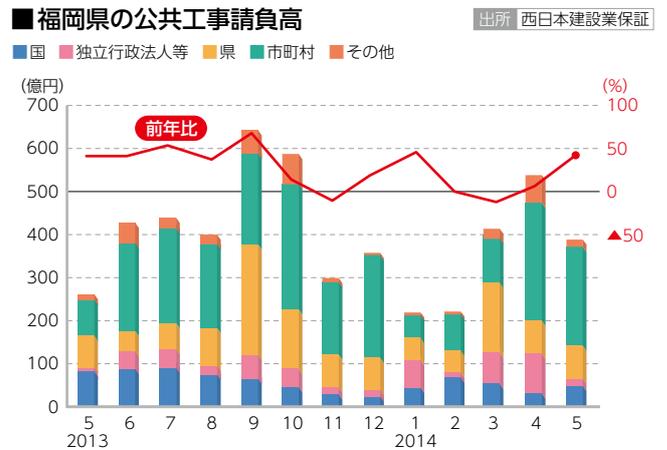
平成27年より増税となる相続税の対策等で「貸家」が好調な一方、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動で、「持家」、「分譲」は大幅に減少しています。



4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.3%減の527件、金額が前年同月比46.3%増の380億円となりました。

発注者別では、地下鉄七隈線建設工事があった「市町村」が前年を大きく上回りました。



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同数の31件、負債総額は同41.4%増の約59億円となりました。

卸売業等で10億円を超える倒産が3件発生し、負債総額は前年を上回っています。



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費が底堅く推移している他、主要指標である生産が増加基調にある等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、化学や電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が一部に見られますが、主力の飲食料品が好調である等、底堅く推移しています。住宅建設も底堅い動きが続いています。

(大仲 陽介)

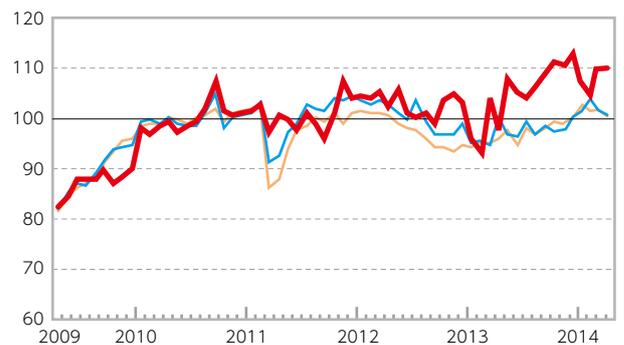
1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は110.3と前月比0.1%低下しました。

主要業種では、半導体製造装置が減産となったはん用・生産用機械が低下したものの、医薬品が増産となった化学やスマートフォン向け半導体の生産が好調な電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100)

出所 熊本県、九州経済産業局、経済産業省

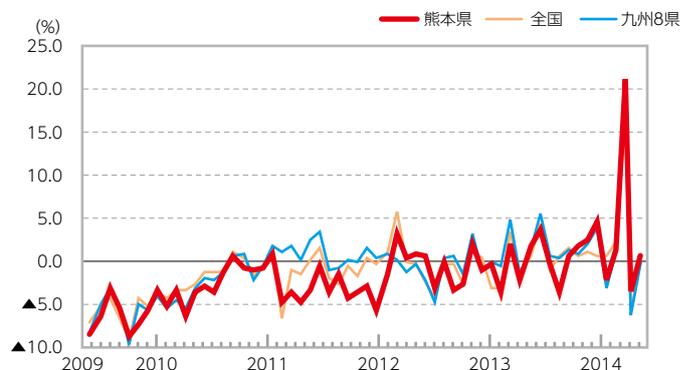


2.個人消費 | 底堅く推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の134億円となりました。

高額商品を中心に、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、主力の飲食料品が前年同月比7.8%と好調で、全体では前年を上回っています。

■ 熊本県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



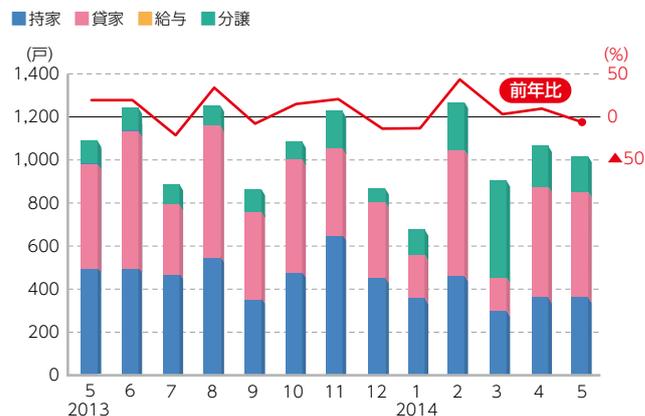
3.住宅建設 | 底堅く推移している

5月の新設住宅着工戸数は、1,015戸と前年同月比6.6%減少しました。

「持家」「貸家」は前年(同月)を下回りましたが、「分譲(マンション)」が前年(同月)を上回る等、住宅建設は底堅く推移しています。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



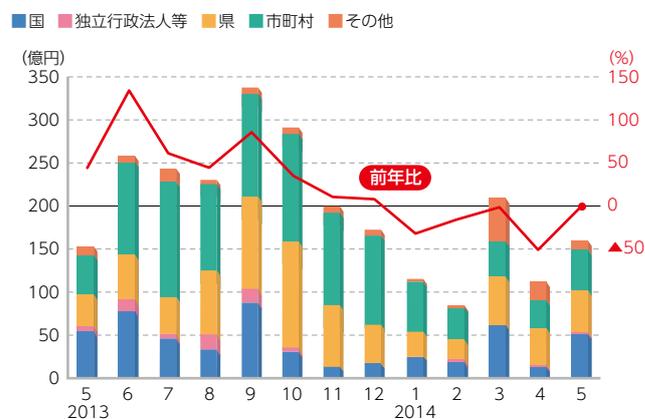
4.公共工事 | 5ヵ月振りに前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比10.8%減の290件、金額が同3.7%増の161億円となりました。

発注者別では、河川の護岸工事があった「県」と市庁舎建設工事があった「市町村」が前年を上回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%増の7件、負債総額が同58.9%増の約3億円となりました。

1億円以上の倒産が無く、負債総額は低水準に抑制されています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産で持ち直しの動きが続く他、個人消費では消費税増税に伴う反動減の影響が薄れつつある等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、主力の飲食料品が前年比プラスに転じる等、駆け込み需要の反動減の影響が薄れつつあります。住宅建設では、分譲マンションの着工が前年を大きく上回る等、3ヵ月ぶりに着工戸数が前年を上回りました。

(下田 大氣)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

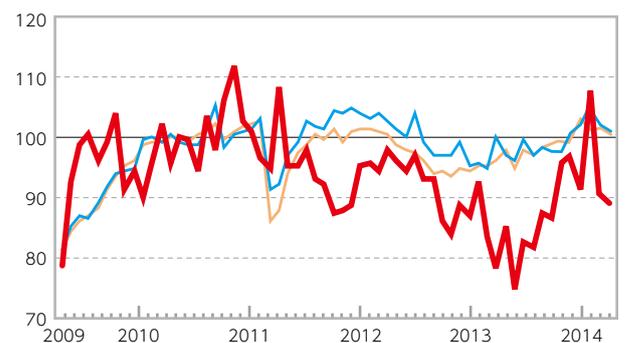
4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.3と前月比5.5%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、新造船が減産となった輸送機械が低下した他、生菓子の生産が減少した食料品が低下しました。

■ 長崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整済、2010年=100)

出所 長崎県、九州経済産業局、経済産業省



2. 個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動は薄れつつある

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.6%減の93億円となりました。

衣料品や宝飾品等で消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られたものの、飲食料品は前年プラスに転じる等、反動減の影響は薄れつつあります。

■ 長崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





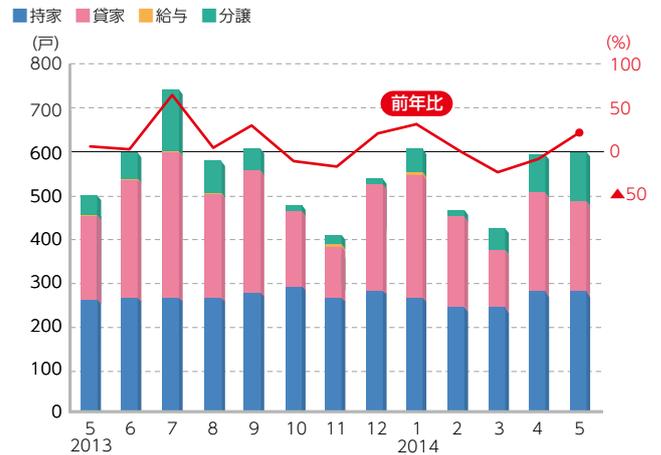
3.住宅建設 | 着工戸数は3ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、598戸と前年同月比20.1%増加しました。

「貸家」や「分譲(戸建)」は前年を下回ったものの、「持家」や「分譲(マンション)」が前年比大幅増加となり、全体を押し上げました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



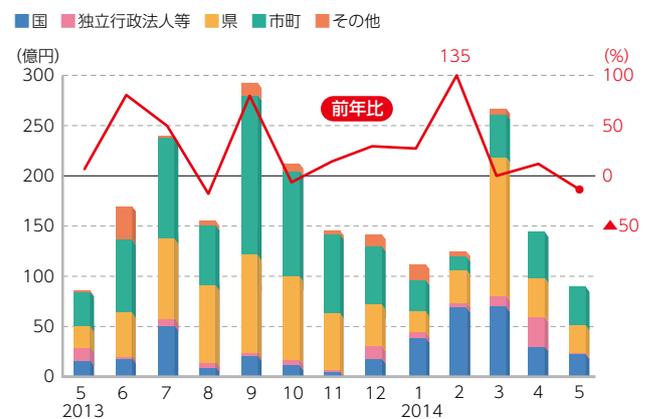
4.公共工事 | 7ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比18.1%増の215件、金額が同5.0%減の86億円となりました。

発注者別では、焼却施設建設の大型案件があった「市町」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%増の5件、負債総額が同約4倍の約14億円となりました。

運送業で10億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移している他、個人消費では消費税増税に伴う反動減の影響が薄れつつある等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、底堅く推移しています。個人消費は、主力の飲食料品が前年比プラスに転じる等、駆け込み需要の反動減の影響が薄れつつあります。住宅建設は5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 底堅く推移している

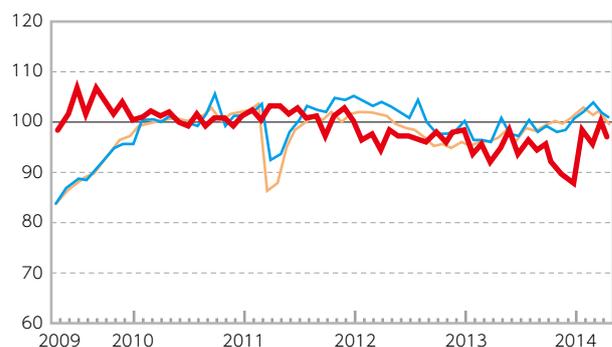
4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.5と前月比4.3%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、底堅く推移しています。

主要業種では、輸送機械と食料品で駆け込み需要の反動減が見られました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100)

出所 佐賀県、九州経済産業局、経済産業省

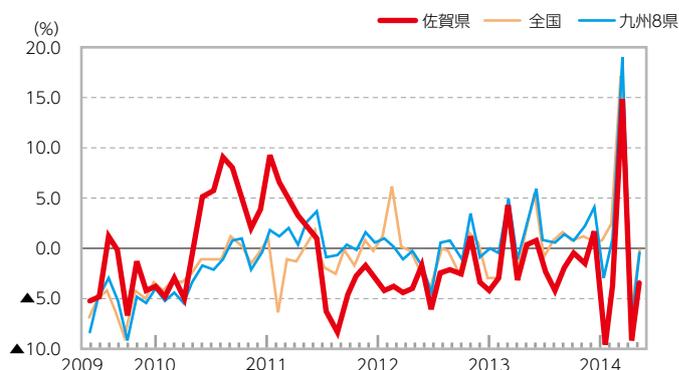


2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動は薄れつつある

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.3%減の52億円となりました。

衣料品や宝飾品等で消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られたものの、飲食料品は前年プラスに転じる等、反動減の影響は薄れつつあります。

■ 佐賀県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





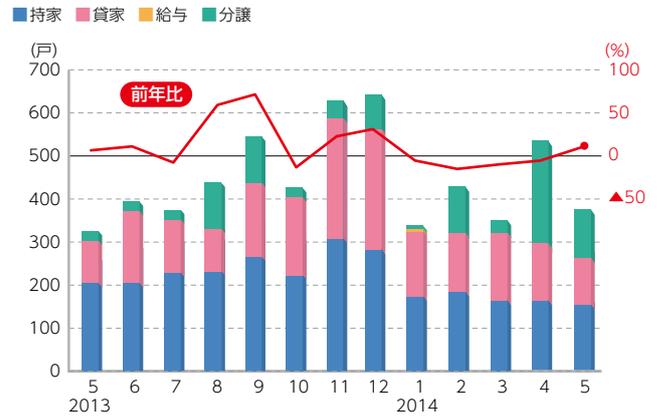
3.住宅建設 | 着工戸数は5ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、372戸と前年同月比9.7%増加しました。

「持家」が前年を下回ったものの、前年に着工がなかった「分譲(マンション)」で着工があり(89戸)、5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



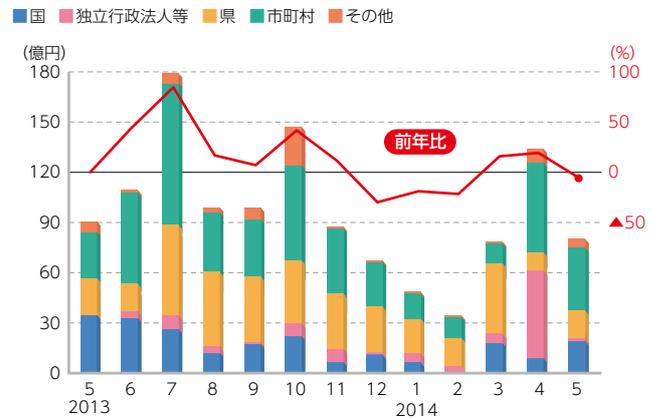
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比16.8%減の168件、金額が同8.4%減の80億円となり、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、学校校舎建設の大型案件があった「市町村」が前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | ホテル業で大型倒産発生

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の4件、負債総額が同約24倍の約45億円となりました。

ホテル業で約40億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大幅に上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、主要指標である生産や個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、底堅く推移しています。個人消費は、駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移しています。住宅建設にも駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

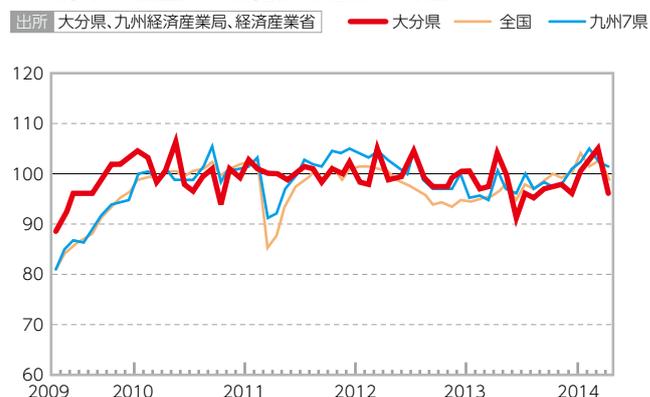
1.生産活動 | 底堅く推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.2と前月比8.5%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、底堅く推移しています。

主要業種では、自動車向け内装部品の生産が減少したプラスチック製品や、焼酎が減産となった食料品が低下しました。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

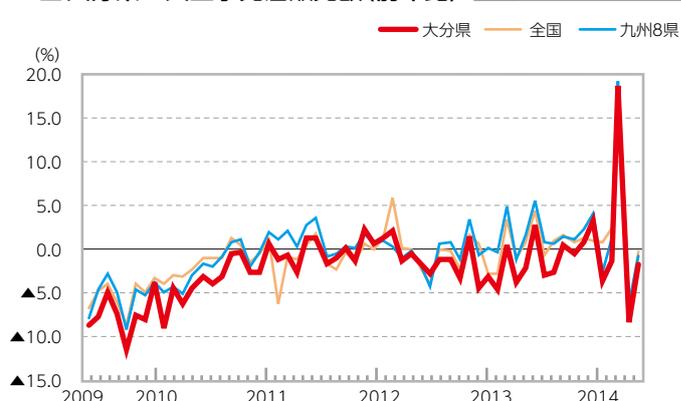


2.個人消費 | 底堅く推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の92億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られているものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、個人消費は底堅く推移している。

■大分県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





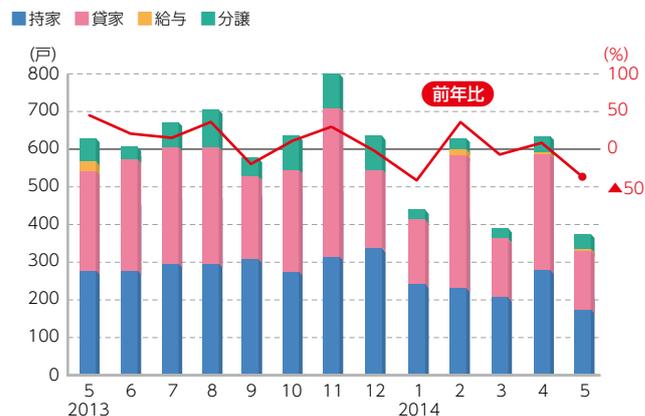
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.6%減の376戸となりました。

全ての項目で前年を下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



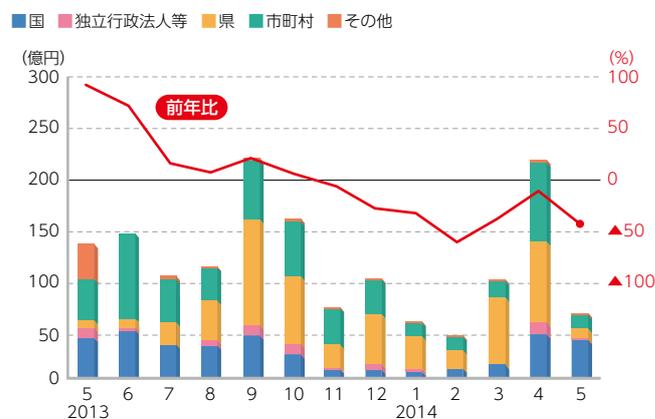
4.公共工事 | 7ヵ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比47.2%減の177件、金額が同42.4%減の78億円となりました。

発注者別では「市町村」が前年を大きく下回り、全体でも7ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



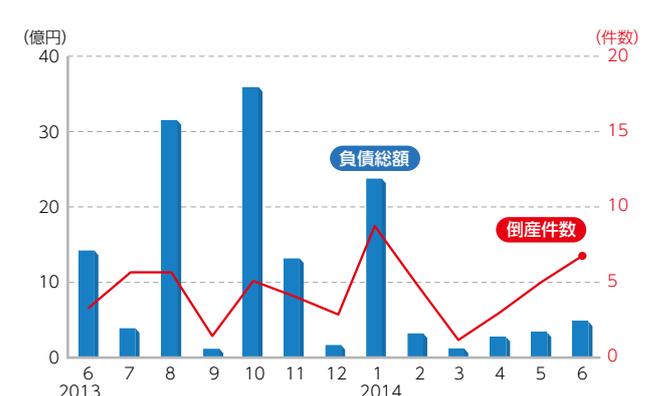
5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%増の6件、負債総額が同60.2%減の約5億円となりました。

レストラン業で2億円の倒産がありましたが、負債総額は低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、主要指標である生産や個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、鉄骨等が減産となった鉄鋼・金属製品が低下したものの、底堅く推移しています。個人消費は、駆け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移しています。住宅建設にも駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

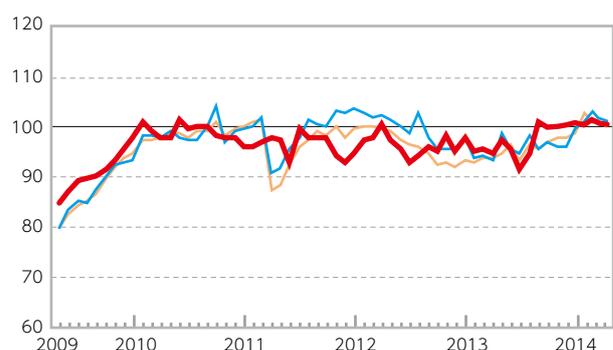
1.生産活動 | 底堅く推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比0.6%減の100.4と安定推移しています。

主要業種では、鉄鋼原料や鉄骨等が減産となった鉄鋼・金属製品が低下したものの、生産は底堅く推移しています。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整済、2010年=100)

出所 宮崎県、九州経済産業局、経済産業省

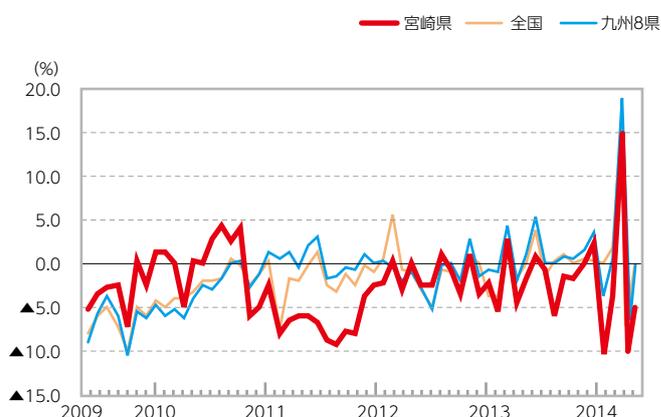


2.個人消費 | 底堅く推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比5.1%減の67億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られているものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、個人消費は底堅く推移しています。

■ 宮崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





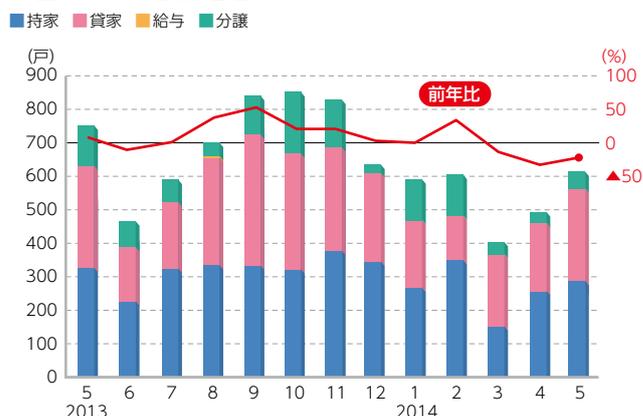
3.住宅建設 | 駆け込み需要の反動減が見られる

5月の新設住宅着工戸数は、615戸と前年同月比18.1%減少しました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を下回る等、駆け込み需要の反動減が見られます。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



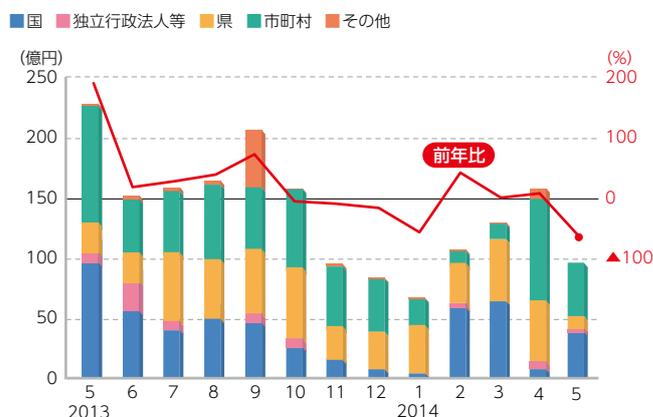
4.公共工事 | 4か月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比30.3%減の258件、金額が同56.9%減の95億円となりました。

大型案件に乏しく、全ての発注者で前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに3か月ぶりに増加

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の6件、負債総額が同約3倍の約5億円となりました。

診療所で約3億円の倒産が発生した他、1億円未満の倒産が5件発生し、負債総額、件数ともに3か月ぶりに増加しました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られるものの、持ち直しの動きが見られます。

生産は、電子部品・デバイス等が低下しましたが、底堅く推移しています。個人消費は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られるものの、マイナス幅は縮小しています。住宅建設は底堅く推移しています。

(森山 裕司)

1.生産活動 | 底堅く推移している

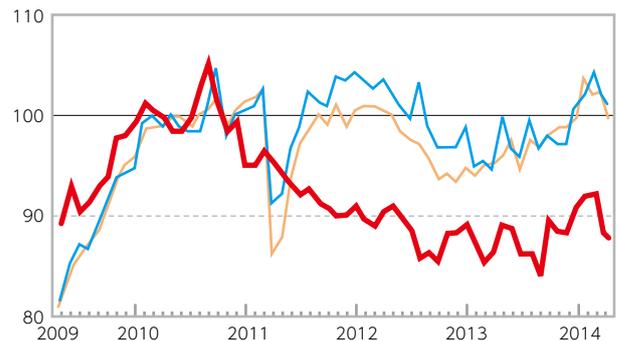
4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.9と前月比0.6%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。

主要業種では、でんぷんや焼酎が増産となった食料品が上昇したものの、液晶パネル関連の生産が減少した電子部品・デバイスが低下しました。

■ 鹿児島の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

出所 鹿児島、九州経済産業局、経済産業省



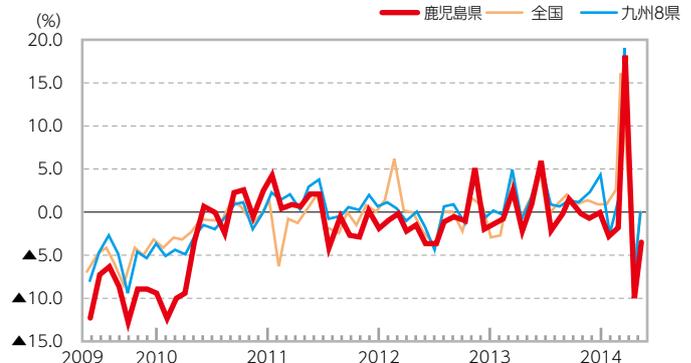
2.個人消費 | 底堅く推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比2.7%減の129億円となりました。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で、主力の衣料品、飲食料品ともに前年を下回ったものの、マイナス幅は縮小しています。

■ 鹿児島の大型小売店販売額(前年比)

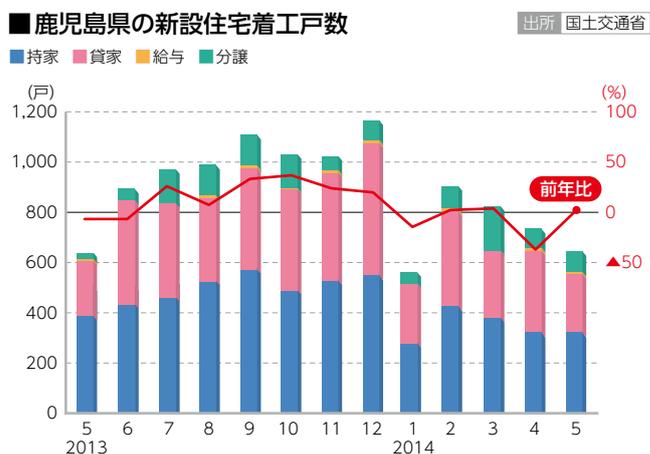
出所 九州経済産業局、経済産業省



3.住宅建設 | 底堅く推移している

5月の新設住宅着工戸数は、666戸と前年同月比3.4%増加しました。

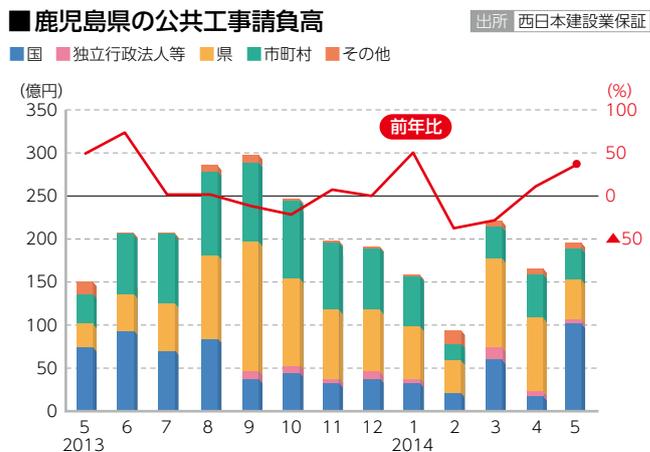
消費税増税前の駆け込み着工の反動で「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を上回る等、底堅く推移しています。



4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.6%増の322件、金額が同25.4%増の192億円となりました。

発注者別では、ダム工事があった「国」や、道路整備工事があった「県」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。



5.企業倒産 | 負債総額が前月比で大幅に増加

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同数の7件、負債総額が同53.4%減の約18億円となりました。

小売業で約13億円の大型倒産が発生し、負債総額は前月比で大幅に増加しています。

